

舞台の上で生きる

外国語学部はそれぞれの専攻語がある時点で  
“人と違う”のが当たり前。  
だから“自分はこれで良いんだ”って思える人が  
多いんだと思う。

# 08 sakuya

野村 勇作

Yusaku Nomura

地域文化学科 東アジア地域文化専攻

中国語

2012年卒

NPO 法人劇団道化 俳優

西安で公演したとき、今まで経験したことのないような、子どもたちの絶え間ない笑いに包まれたんです。心臓がバクバクバクバク！って鳴って、“今すごい状態の中にいるんや”って感じました。そのときは中国語やって良かったなあと思いましたね。あの笑いの渦にもう一度飛び込みたい。

海外で仕事をしてると、大学の先輩に会えるのが嬉しい。重慶の日本領事館に行ったとき、総領事が外国語学部の大先輩でした。食事の席で「あの漢詩、言えるかい？」なんて言われて緊張しましたがけど（笑）。あと、外国語学部ってみんな我が強いんじゃないですかね。専攻語がある時点で“人と違う”のが当たり前。だから“自分はこれで良いんだ”って思える人が多いのかなと。

続きはWEB「外語マガジン『sakuya』」で。

外語の先輩に、会おう

咲 耶 会

(大阪大学外国語学部・大阪外国語大学 同定会)

卒業生の  
インタビュー  
毎月更新



sakuyakai.net/magazine